



Q 熊による被害対策について

みや た まり こ
宮 田 眞理子 (文責)



A 補助金の見直しを図り 助成をできるように…

質問

今年熊の目撃情報が大変多く、先月は熊に襲われ怪我人も出てしまった。警察、消防署、役場、消防団の方々が警戒に当たっていただいているが、未だに夜などは怖くて歩けない状態にある。産業建設常任委員会の中でもお話させていただいたが、柿の木伐採にかかる費用の助成を考えてはどうか。また警戒だけでは熊はいなくならない。根本的な施策を行うべきである。

答弁

「強い経済」を実現する総合経済対策」の第一の柱「生活の安全保障、物価高への対応」の中にも「クマ被害対策パッケージ」という文言が出てきている。今後、町としてどのように動いていくか。

この度の緊急銃猟の協力体制整備や、県の熊捕獲緊急支援事業補助金で捕



獲、熊スプレー、センサーカメラ等のため補正予算を計上している。現行の補助金の

見直しを図り、柿の木伐採等を助成できるようにしていきたい。

「強い経済」を実現する総合経済対策」の決定を受け、町が進めていく 施策の方向性はどうか

質問

「生活の安全保障・物価高への対応」として、地域の実情にに応じて物価高の影響を緩和（重点支援地方交付金の拡充）とある。生活者支援では、①食料品の物価高騰に対する特別加算、例としてプレミアム商品券、電子クーポン、お米券、現物支給

る。一人1万円程度になるうかと思うが、1月中に届けることができるようになるのではないかと考えている。

質問

障がいのある子どもに寄り添う
施策について

障がいは多様化してきている。町内の幼児・

②低所得者支援。③物価高騰に伴う子育て支援、例として小中学校における給食費の支援。④消費下支え等を通じた生活者支援等が挙げられている。

児童の障害の状況はどのようになっているのだろうか

町としてのどのように進めていくか伺う。

答弁

お米券等と世間では言われているが、湯沢においては一番効果の高い現金給付を考えているところであ

障書をお持ちのお子さん、親御さんは、小学校、中学校



子育てガイドブックの表紙

それぞれ進学時期には悩むことも多くあると想像する。そのような時に、町として寄り添うことができる施策として「障がいのある子の入学ガイド」があれば良いと思うがどうか。

答弁

湯沢町では出生前から卒業するまで、保健師が全ての子どもについて把握している。子育て支援ガイドブック「すくすく湯沢っ子」や支援者と保護者を繋ぐパスノートを作成し活用している。不安なことがあればいつでも子育て支援課にご相談いただきたい。